

鹿屋市国際交流協会だより ～グローバル～

2020年
11月発行 No. 24

鹿屋市国際交流協会

〒893-8501 鹿児島県鹿屋市共栄町20-1 (鹿屋市役所 地域活力推進課内)

☎080-1985-3565 <http://kiea.ne.jp/>

(8:30～17:00 土・日・祝日休み)



ごあいさつ

深秋の候 皆様方におかれましてはますますご清祥

のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を

賜り厚く御礼申し上げます。

さて、私は、このたび中野 恵理子の後任として、本年4月に

会長に就任しました。外国人を取り巻く環境の変化や時代のニーズが

変化する中、地域の発展のために努力いたしますので、前任者同様 ご支援くださいますようお願い申し上げます。

さて、現在、鹿屋市にはベトナム、フィリピン、中国、インドネシア、ネパールなど、様々な国の外国人が約700人暮らしています。皆様にとりましても、外国人は身近な存在となっているのではないのでしょうか。外国人の増加の要因は技能実習生の受入が大きく関わっていますが、今後も鹿屋市の在留外国人数は増えていくものと考えられており、外国人が地域社会で暮らしやすい環境を整えることが求められています。

当協会では、これまでの国際交流事業に加え、国籍が違う人々がお互いの文化や考え方などの違いを認め合い、対等な関係を築きながら、外国人も鹿屋市の住民の一員として共に暮らす多文化共生の地域づくりを目指し事業を実施しております。当協会の活動を通じ、市民の皆様の国際理解や国際性豊かな人材育成などに努めてまいります。

今後とも、当協会へのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

鹿屋市国際交流協会 会長 坂元 浩幸

Event Information

イベント情報

11/15 外国人向け
自転車の乗り方教室

自転車に乗るときのルールを学びましょう。

ルールを学んだあとに、一緒に自転車で、ミニツアーに出かけましょう♪



11/29 鹿屋の秋を感じる
バスツアー

鹿屋市に暮らす外国人と日本人の交流を目的にしたバスツアーです。

吾平山上陵の紅葉や鹿屋の食を楽しみましょう。



イベントに参加するには申込が必要です。
詳しいことが決まりましたら、ホームページでお知らせします。



鹿屋市 国際

検索



わたしは、ベトナム出身のトゥと申します。1年6ヶ月前に来日し、2020年10月に鹿屋市にまいりました。

今日は、みなさんにベトナムの伝統的な衣装である「アオザイ」を紹介しします。

アオザイを日本語に訳すと、「アオ」は「上着」、「ザイ」は「長い」という意味になります。

アオザイは1700年代に誕生したといわれています。古典的なアオザイは、襟の高さが約4～5cm、襟がV字型にカットされ、首から腰までタイトな仕上がりになっています。腰から膝下まで深いスリットが入っているのが特徴です。上着の袖丈は肩から手首まであり、足首までである長ズボンを着用します。

女性の衣装という印象がありますが、男性用の衣装もあります。

アオザイは、お祭りで着る伝統的な服だけでなく、航空会社のスタッフ、女性の教師、女性の銀行家、学生などのオフィスや学校の制服になっています。また、パーティーなどの特別な日にも着ることがあります。

今では、多くのファッションが登場していますが、ベトナムの女性の伝統的なアオザイは今でも人気があります。

私は、何度か日本の伝統的な衣装である「着物」を着たことがあります。

アオザイも着物も素晴らしい美しさを持っていると思います。

ぜひ、みなさんもアオザイを着てみてください！



アオザイは、**鹿屋市民族館**で着ることができます

外国語が話せなくても大丈夫!!

災害時は「やさしい日本語」を使いましょう

近年、日本では大きな自然災害がよく起こるようになり、鹿屋市でも台風や大雨による災害が増えています。日本で起きる災害と、世界各国で起きる災害は異なることから、外国人の災害に対する知識や経験は日本人と大きな差があります。阪神・淡路大震災の外国人と日本人の100人あたりの死者数を比べてみると、日本人に比べ約2倍の外国人が亡くなったというデータもあります。

鹿屋市にも様々な国籍の外国人が暮らしていますが、日本人であれば知っている災害に関する言葉は外国人にとっては理解が難しいため、「やさしい日本語」を活用した情報提供が注目されています。鹿屋市に暮らす多くの外国人は、一定程度の日本語によるコミュニケーションはできるため、「やさしい日本語」であれば分かる、安心するといわれます。

今回は、災害に関する言葉の「やさしい日本語」を一部紹介します。

やさしい日本語の文を作るときのポイント

- ①簡単な言葉を使う。
- ②漢字にふりがなを振る。
- ③ひとつの文を短くする。
- ④あいまいな表現は避ける。
- ⑤知っておいたほうがよいと思う言葉はそのまま使い、「やさしい日本語」による言い換えを添える。

災害に関する言葉の言い換え例

警戒する	⇒	きをつける
危険	⇒	あぶない
高台	⇒	高い場所
浸水	⇒	部屋に水が入る
すみやかに	⇒	すぐに

外国人も知っておいた方がよい災害に関する言葉の言い換え例

避難する	⇒	避難する〈にげる〉
避難所	⇒	避難所〈みんなが 逃げる ところ〉
余震	⇒	余震〈後で 来る 地震〉

「やさしい日本語」で災害情報を「正しく」「はやく」外国人に伝えることは、災害時の被害を最小限に減らすために、皆さんが取り組める一つの手段です。

「やさしい日本語」は、災害時に限らず、平時のコミュニケーションにも役立ちます。ぜひ普段から外国人とのコミュニケーションにご活用ください。